

# 白根絞りが

## 国際会議に参加



▲第一線で活躍する作家の技法を学ぶ

全国有数の絞りの産地として知られる名古屋市長市有松。その名古屋で開かれた国際絞り会議に白根絞りが参加しました。この会議は、デザイナーや研究者らが絞りの可能性を探ろうと、十一月二十一日から三日間の日程で開いたもの。アメリカ、フランスなど十五カ国から八百人が参加しました。

本市からは白根絞りの唯一の技術伝承者として田村タミさん（一の町）が招待を受けました。田村さんは伝承者による実技講習の会場として設けられたワークショップで、「三浦やたら」と呼ばれる技法を披露しました。また白根絞りの発掘と保存に取り組むサークル「ふきのとう」と、市民文化講座白根絞りが講師を受講生ら十三人も参加しまし



▲「これが絞り？」と目を見張る作品の数々

た。同会議の参加者のほとんどはプロの作家や業者など。その中でアマチュアグループが参加できたのは、商業ベースに乗らずに、絞り技術の掘り起こしと地域の活性化に取り組み活動が高く評価されたものです。

会議に合わせて開催された絞り展には、第一線で活躍する作家らの作品が展示。「絞りがこんなに芸術的なものとは思わなかった。これまでのイメージが全く変わった」と参加者。「芸術性の高い作品にも挑戦したい」と、大きな目標も生まれました。

ふきのとう代表の星野敦子さんは「有松では絞りが多くの面で地域に根付いているのを見てうらやましかった。私たちもこの経験や地域の活性化に生かすことにより、郷土の伝統を守り、広め、最終的には産業に発展させたい」と話していました。



▲白根絞りを披露する田村タミさん

# コメ自由化を許すな

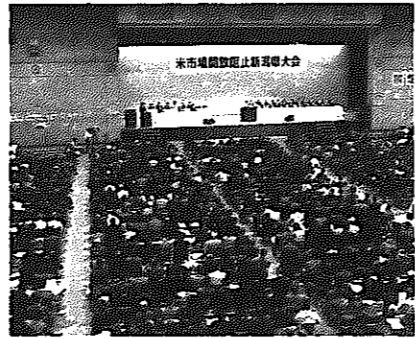
## コメ市場開放阻止新潟県大会



▲あいさつに立った平山県知事

コメの関税化が焦点となっているガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉が早期合意に向けて大詰めを迎えた十一日、コメ市場開放阻止新潟県大会が開かれました。これはコメ自給の必要性と重要性をアピールするため、県と県農協中央会が主催したもの。会場となったカルチャーセンターには、県内各地から生産者を中心に、農業団体、消費者、米穀商など、千五百人が参加しました。

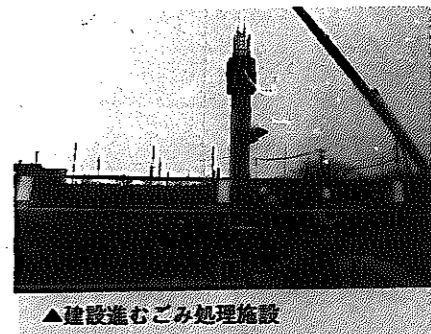
主催者としてあいさつに立った平山県知事は「コメは本県農業の生命線。自由化は地域社会に計り知れない打撃を与える。市場開放阻止に向けて、力強い反対の意志を示し、みんなで頑



張りましょう」と訴えました。栗原祐一県農協中央会長も「外米輸入のための生産調整はできない。もしコメが自由化されれば米価は暴落し、農村は崩壊する。地域社会に与える影響は極めて大きい。一層団結を強固にし、市場開放、自由化を阻止しよう」と呼び掛けました。

大会では生産者、消費者などの代表がそれぞれの立場でコメ自給の必要性をアピール。地元代表として所信表明に立った滝沢市長は「農村とコメを守るために、県は知事を先頭にして、全力を挙げて国に働きかけてほしい」と訴えました。さらに、国の礎である農業の存続のために、コメの自給方針が貫かれるよう要望する大会アピールを採択。JA青年部などが白根市内をトラクターでデモ行進し、「コメ市場開放を断じて許すな」と市民に呼び掛けました。

# BIG 平成4年白根市の 11大ニュース NEWS



▲建設進むごみ処理施設

- 平成4年はあなたにとってどんな年だったでしょうか。大きな災害こそなかったものの、パブル崩壊による景気の減速感は一層深刻なものとなりました。そんな中で本市は白根北中学校の開校や大通地域生活センターのオープンなど、まちの基盤作りが着実に進んだ年でした。
- ①しろね大鳳と歴史の館、いよふらさと創生事業で市民からアイデアを募集して生まれた「しろね大鳳と歴史の館」。12月定例市議会にて承認され、白根総合公園の一面にいよいよ建設が始まりました。
- ②白根北中学校が開校  
大鷲中学校が42年の歴史に幕を閉じ、3月に閉校。4月に根岸、大通の全部と、大郷、鶯巻の一部を除いた区域を学区とする白根北中学校が開校しました。建設工費は16億5,876万円。通学路の整備も急ピッチです。
- ③ごみ処理施設建設に着手  
44億3,730万円の総工費で新ごみ処理施設の建設に着手。1月22日には安全祈願祭が行われました。環境に優しい最新式の処理施設は、6年10月の完成を目指して急ピッチで工事が進んでいます。
- ④新生白根市農協が発足  
2月1日、市内の4農協が合併して「白根市農業協同組合」が発足。長年の懸案だった一行政一農協が実現しました。
- ⑤原喜彦選手五輪連続出場  
レスリングの原喜彦選手がソウル五輪に続いてバルセロナ五輪に連続出場。惜しくも失格となりましたが、地方にあって世界を目指す姿は、市民に大きな夢と勇気を与えてくれました。
- ⑥学校週5日制スタート  
9月から全国一斉に学校週5日制が実施。毎月第2土曜日が休みになりました。地域の中で人間性を育てる教育を目指そうとスタートしたこの制度。家庭や地域の対応が注目されました。
- ⑦大通地域生活センターがオープン  
宅地開発が進む大通地区に、総工費2億1,868万円で建設された大通地域生活センターが4月からオープン。地区公民館も併設され、地域の集いの場として活発に利用されています。
- ⑧中学生非核平和研修実施  
非核平和都市宣言を受けて、中学生の代表7人が広島市の平和祈念式典に参列。原爆資料館などを見学し、平和の尊さを肌で感じてきました。
- ⑨白根保育園が完成  
老朽化のため現地改築した白根保育園が3月10日に完成。ドーム型の屋根に子供たちの元気な声こだましています。総工費は2億2,532万円でした。
- ⑩県展白根巡回展開催  
7月17日から1週間、県展巡回展がカルチャーセンターで開催。初めて開かれる巡回展とあって、1万1,000人が鑑賞に訪れました。
- ⑪総合防災訓練を実施  
防災の日9月1日、県と市の主催で大規模な防災訓練を実施。カルチャーセンターなど6会場で行われた訓練には、地元消防団や地域住民など2,200人が参加しました。

